

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市中京区奈良屋町プロジェクト新築工事	階数	地上9F
建設地	京都市中京区河原町通三条下る三丁目奈良屋町301番1、301番2、301番9	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	374 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2019年4月17日
敷地面積	606.34 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 向販真理子
建築面積	492.10 m ²	確認日	2019年4月17日
延床面積	4,340.87 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社 向販真理子

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

建設 修繕・更新・解体 運用 オンサイト オフサイト

①参照値

②建築物の取組み

③上記+②以外の

④上記+

0 46 92 138 184

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.6

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 デザインされた格子状ルーバーを採用し、昼光利用に配慮している		その他 特に無し
Q1 室内環境 客室部のサッシの遮音等級をT-2としている。	Q2 サービス性能 内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした	Q3 室外環境 (敷地内) 景観地区にあり認定を受けている
LR1 エネルギー LED照明、太陽光パネルを設置している	LR2 資源・マテリアル 混合水栓、節水型トイレを使用している。再利用できるユニット部材を使用し、容易に分解・再利用ができる。	LR3 敷地外環境 光害の抑制に努めた

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される